

清康新話

2020年 9月4日 金曜日
(令和2年)

きょうは何の日

くしの日、関西国際
空港が開港(1994年)

知・技の創造
ものづくり大学発

▷ 58 ◁

1995年の阪神・淡路大害が出ている。

震災では、多くの市民が災害ボランティアとして被災者支援に参加したことから、この年は「ボランティア元年」と呼ばれている。2018年には西日本豪雨や北海道胆振地震により甚大な被害が出た。このように近年の豪雨で明らかになった気候変動による水災害の頻発かつ激化、また近い将来に発生が危惧される東海、東南海地震に対しての対策が急務であることも誰もが感じていることと思う。さらに、

この時、防災関係者との会合で、「今年は将来、『災害元年』と呼ばれるかも」と話していたのを覚えている。そして昨年の台風19号は、大雨、認識している。

暴風により関東甲信越、東北地方まで広範囲に爪痕を残し、今年も九州や中部地方にて紛争地での難民キャンプや、自然災害の被災地で、建築を

通した活動を行ってきた。中でも国際協力NGOに在籍した6年間は、現在の日本の緊急人道支援の礎になる時期であった。

パン」構想が、のちのNGO・経済界・政府が三位一体となるジャパン・プラットフォーム（以下JPF）設立のきっかけとなり、そして緊急支

「シェルター」を開発した。し、また熊本地震でも使用された。

空気膜構造であるバルーン。そして今、かつて在籍していた国際NGOの国内での被災地の活動を見聞きし、私自

わらず、本体が約60㎡と軽量

今井弘 建設学科教授

国際支援から国内災害へ



いまい・ひろし 三重大学博士後期課程修了、一級建築士。設計事務所、NGO、JICA、建築研究所、防災科学技術研究所を経て、2019年より現職。主に設計・製造、構造物の授業を担当。

99年4月、内戦状態にあったコソボ自治州の戦況が悪化したし、近隣諸国に約50万人が避難した。援の要となる「緊急支援大」がスタートが不可欠である。当時、所属していたピース

の難民が流出した。この状況に対してNGOが専門分野の居住空間として家族用テナントの共同により緊急支援野で協力する「キャンジヤント」が用いられる。しかし非大型シェルター「バルーン



アフガニスタン難民キャンプで
(2002年)